

全国協議会 ニュース

2007年1月1日発行
第175号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

新春を迎えて

特定非営利活動法人

全国骨髄バンク推進連絡協議会

会長 大谷貴子



皆様、明けましておめでとう
ございます。

そして何よりもはじめに、昨
年一年間に骨髄を提供してくだ
さったドナーの皆様、ドナーを
支えてくださった多くの皆様に、
心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、年少少女が自
らの命を絶つという、痛ましく
悲しいニュースが、幾度となく
社会を駆け巡りました。命はそ
んなに軽いものではないはずで
す。また、生きるということ
は、決して簡単なことでもありま
せん。どんなに辛い治療にも
耐え、病氣と闘いながら、生き
ることに真面目から立ち向かっ
ている人たちがたくさんいます。
そういう人たちがいることを
知ってほしい。そして、もつと
自分を、周りの人を大切にして
ほしいと願っております。

骨髄バンクには、社会が失い
かけているぬくもりが一杯詰
まっています。私たちも、骨髄
バンク運動を通して少しでも生
きることをすばらしさ、支えあ
うことのすばらしさを伝えてい
ければ、もつともつと多くの患
者さんを救うことができるだろ
うと感じています。

日本骨髄バンクができて15年
今一度初心に返り、私たちの活
動から「命の尊さ」を発信して

いきたいと思えます。

財団法人 骨髄移植推進財団

理事長 正岡 徹



謹んで迎春のご挨拶を申し上
げます。これまでの骨髄バンク
事業の発展は、本事業にご理解
とご支援をいただきましたボラ
ンティアの皆様や関係者のご尽
力の賜物であり、厚く御礼申し
上げます。ドナー登録者30万人
という目標につきましても、本
年中に達成される見込みであり
ますが、それでもなお、ドナー
の見つからない患者さんがおら
れます。本年も、一人でも多く
の患者さんに一日も早く骨髄移
植の機会が訪れますよう、ド
ナー登録を推進し、より一層の
コーディネート期間の短縮やド
ナー安全対策の強化、国際協力
の推進などに努めてまいり所存
でございます。

これからも、骨髄移植を必要
とする患者さんのため、ドナー
登録推進と骨髄バンクの普及啓
発にご支援、ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

厚生労働省健康局疾病対策課
臓器移植対策室長 原口 真



新年明けましておめでとうご
ざいます。年頭に当たり、一言

ご挨拶をさせていただきます。

白血病患者の血液難病の患者

の方々に骨髄移植の機会を広く
公平に提供することを目的とす
る骨髄バンク事業は、今年で
十六年目を迎えます。この間、
会員の皆様方をはじめ多くの関
係者の方々の御尽力により、ド
ナー登録者は26万8千人を超
え、また、バンクを介して行わ
れた骨髄移植は7千9百例を超
えました。特に、近年は、多く
の方々のこれまでの努力の積み
重ねにより、骨髄移植への理解
が深まりドナー登録者数が飛躍
的に伸び、30万人という目標の
達成も間近なものになってまい
りました。ドナー登録をされた
方々や実際に骨髄を提供された
方々、さらにはバンク事業に携
わる関係者の方々と並びに全国各
地でバンクを支えていただいで
いるボランティアの皆様方の御
支援、御努力の賜物であり、深
く敬意を表します。

厚生労働省臓器移植対策室と
いたしまして、ドナー登録者
数の確保に向けて、今後とも関
係機関と連携して普及啓発活動
等による事業の一層の推進に努
めてまいりますとともに、移植
希望者数並びに移植件数の増加
に対応するため、あつせん体制
の強化を図り、一人でも多くの
患者さんが骨髄移植を受けられ
るよう、全力で取り組んでまい
ります。そして、国民の皆様方
の理解がより一層深まり、一人
でも多くの方が骨髄バンクに登
録して下さることを切に願っ
ております。

日本赤十字社
血液事業本部長 西本 至



平成19年の新しい年を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。
昨年は数多くの骨髄ドナー登
録希望者の方に登録いただき、
昨年11月には累計登録者数は
33万人、有効ドナー登録者数も
26万人を超えました。

これもひとえに骨髄バンク事
業に携わる関係者及び貴協議会
をはじめ、全国各地で活動され
ているボランティアの皆様のご
尽力の賜物と深く敬意を表しま
す。

日本さい帯血バンクネットワーク
会長 鎌田 薫



新年明けましておめでとうご
ざいます。

日本さい帯血バンクネットワー
クは、平成11年8月に発足し、
満7年が経過し、現在11のさい
帯血バンクと共同事業を展開し
ているところであります。昨年
は、5月にはさい帯血バンク事
業を介したさい帯血の移植症例
が3000例を超え、9月には
秋篠宮さま、紀子さまが悠仁さ
まのご出産に際し、さい帯血を
ご提供されるという大変喜ばし
い出来事もありました。

これからも骨髄バンクと連携
をし、移植を待つ患者さんのた
めに共に努力しながら一層の発
展を目指していきたくと思いま
す。さい帯血バンク事業に対す
るますますのご理解とご支援を
お願いするとともに、新年が皆
様にとりまして、より良い年と
なりますよう祈念いたします。

全国協議会役員として度々目
の新年を迎えました。「十年
は一昔」と言いますし、四年と
いうのはオリンピックやワール
ドカップの開催サイクル、衆議
院議員や知事の任期・・・と同
じなわけで、ひとつの節目とし
て区切りをつけるのに、最適な
タイミングではないでしょうか。
年頭に際し、胸の内を思い描
くことがはたらくもあつたか
すが、初心忘るべからず・・・
自らの活動の原点に立ち返るこ
ろから、新たなスタートを切
りたいと思えます。

三年半前、理事長就任に際し
て本紙に書かせていただきました。
「はじめに患者ありき」
この視点を、すべての関係者の
皆様と共有しつつ前進してまい
りたいと思えます。本年もよろ
しくお願い申し上げます。

財団から回答書 セクハラ・パワハラ疑惑問題

全国協議会は、財団元幹部職
員のセクハラ・パワハラ疑惑を
告発した職員が解雇された問題
について、財団に対し「事実関
係と懲戒処分判断根拠を明ら
かにし、信頼回復に向けた具体
的な方策を示すこと」を求め
ました(要請書本文は前号に
記載)。

20日に財団から回答書が届き
ました。回答の主旨は、①事実
関係および判断根拠については、
解雇された元職員から提訴され
ることも想定されることから説
明は控える。②信頼回復に向け
て組織運営体制の見直しを行
うとともに、全国協議会を始め
ボランティア団体との意志疎通を
図るために「骨髄バンクボラン
ティア連絡会」(仮称)を設置
しました。

この回答を受け、全国協議会
は12月17日に開催した第66回理
事会で、回答内容は全国協議会
が求めた社会的な説明責任を果
たしておらず極めて不満足な内
容であり、引き続き誠意ある対
応を強く求めることを財団に対
し文書で表明することを決定し
ました。

第66回理事会報告

12月17日
全国骨髄バンク推進連絡協議会事務局

〈10、11月会計報告〉

〈報告事項〉

- 名義後援、承認案件
- 2008年ボランティアの集
い開催地募集
- 専従事務局員賞与について
- 新宿区主催「ハーフマラソン大
会(1月27日開催)」での普及
啓発活動
- 財団との協働体制作り
- 情報誌「骨髄バンク」第9号
発行
- 第4回役員選挙進行状況
- 「白血病と言われたら」進捗
状況
- 「造血細胞移植医療将来像検
討会議」現況
- 中四国ブロックセミナー開催
- 2007年静岡大会進捗状況
- Yahoo!インターネット募
金結果
- アステラス製薬助成金申請
年賀はがき助成金監査終了
- ノースウエスト航空個別面談
- ノースウエスト機内誌掲載の
件
- 財団宛セクハラ・パワハラ関
連要望書その後
- 財団関連

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンクNOW

●ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴のある方の対応について
薬事・食品衛生審議会血液事業部安全技術調査会において、ヒト胎盤エキス(プラ
センタ)注射剤使用者に関する対応について審議が行われ、献血を制限する措
置を講ずることとされました。これを受けて厚生労働省健康局長より今後の対応
について通達が発出されました。

通達の内容は、ヒト胎盤エキス注射剤の使用により、変異型クローンフェルト・
ヤコブ病を伝播するリスクがあるため、当分の間の予防措置として、使用歴のある
方からの骨髄提供は見合わせるというものです。患者さんとHLA型が適合した
場合、コーディネート開始時に使用歴の確認を行い、ヒト胎盤エキス(プラセンタ)
注射剤使用歴が判明した方については、コーディネート終了とし、ドナー登録は
55歳の誕生日まで保留となります。

●日本骨髄バンクの現状(平成18年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,974	3,460	268,015	337,250
患者登録者数	158	191	3,306	21,694
骨髄移植例数	77	86	-	7,901
20歳未満ドナー	327	187	4,439	-
51歳以上ドナー	191*	118**	5,513***	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数 ***17年9月~

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

大谷会長



走る

12月6日 愛知県一宮市立中部中学校において、「白血病からの生還」と題して、大谷貴子会長の講演会が開催されました。当日参加した生徒さんの感想文をご紹介します。

人の出来ること

「火火」という映画を見て、今日は大谷さんのお話を聞いた。この2日間、だいぶ白血病についての知識が分かった。しかし、なぜ白血病なんてものがあるのだろう。遺伝も伝染もしないのだから。遺伝も伝染もしないのに今まで平和に普通に生活していた人が発病するのだから。不公平だ。生まれた時からならわからないけれども、途中から自由をうばわれるのなんて悲しすぎる。今では骨髄バンクもありドナーを見つけれられやすくなったが、それでも大変なことだ。まだまだ、絶対はありえない。

命の大切さと 人々のあたたかさ

私は「命は大切」と思っているけれど、それでも人は死にたくないような事を思うときは絶対にあると思います。でも大谷さんは言っていました。「でもそんな時は誰かに相談しなさい。1人じゃないんだから」と。

病気で生きてたくても生きられない人は白血病の病気からでも山ほど居るのに、自殺していく人がたくさんいることは病気の人が失礼だと思いました。

骨髄バンクで白血病の病気からたくさんの人たちを救った人は優しいです。顔も知らない人なんかのためにいたいと思います。でも普通に私が生きていく中でも、たくさんのお優しい人がいます。それがあたりまえに感じずに、人に感謝しながら自分の命を大切に生きて、生きていきたいです。

(1年 玉田千晴)



三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力



心からのご寄付に 感謝申し上げます

株式会社サクラホーム	現金	10,000円
いわき骨髄バンクを支援する会	現金	400,000円
鞘和会(早稲高等学校同窓会)	現金	17,400円
花田学園祭実行委員会	現金	33,000円
行田市立忍中学校	現金	47,581円
大利町立元和小学校	現金	30,000円
神戸中学校同窓会	現金	50,000円
宮代町立百間中学校PTA	現金	20,000円
宮代町立百間中学校生徒会	現金	30,122円
サントフロリアンピアノ三重奏チャリティコンサート(埼玉骨髄バンク推進連絡会)	現金	109,000円
サントフロリアンピアノ三重奏チャリティコンサート(NPOあいち骨髄バンクを支援する会)	現金	10,225円
ノーレート麻雀ネットワークNEURON	現金	156,500円
たっくママ投稿募金サイト	現金	2,140円
株式会社ハウケン	現金	30,000円
柏倉一子	現金	5,000円
黒田多喜男	現金	10,000円
吉本ヤスタカ	現金	1,000円
塩谷圭	現金	1,000円
小暮高夫	現金	5,000円
武笠直義	現金	5,000円
小峯宏男・末子	現金	20,000円
匿名	現金	7,975円
匿名	現金	4,310円
櫻井康司	現金	30,000円
山本和広	現金	20,000円
徳田ひろみ	現金	1,620円
●佐藤きち子患者支援基金		
渡辺直弥	現金	7,000円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
いわき骨髄バンクを支援する会	現金	400,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

2006年度賛助会員(11月20日~12月18日)

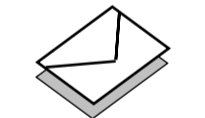
匿名の方2名
全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしく願いたします。
団体(法人) 年会費 1口 5000円
個人会員 年会費 1口 2000円
※ お申し込みは全国協議会事務局まで願いたします。



東京 ボロ市体験記

何年も前から東京の会が参加している「世田谷ボロ市」に是非参加してみたいと思いつつ、なかなか果たせずにいた念願を

各地のたより



各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

とうとう果たすことが出来まし
地理不案内な私が世田谷線の
電車にやっと乗れたのは午後2

時近く、もう終わっているかも
と思いつくまま、キティの職を
目印にドキドキしながらやつと
たどり着いてその場所で見ても
のは「女寅さん」二人の絶妙な
かけ合いと、みるみる売れてい
く松川のりんごや鮭トバだった
のでした。

お客さんが引き込まれるように
近づいてくると、すかさず試食
を進め、あつという間にお買い
あげです。
短い時間しか居られず、本当
にお手伝いも出来なかつたわけ
ですが、ボロ市の雰囲気を感じ
て楽しい一日を過ごさせて頂き
ました。(小川・鉏路在住)

リレー紹介

ボランティアの仲間たち

千葉県のバラ栽培家 中澤忠司さんの巻

淡いピンクの大輪「マリアナ
ターレ」とはトスカニーニとい
うバラの品種改良によって生ま
れ、2006年11月下旬に発売
されました。
生産者である中澤さんは7年
前に脱サラして千葉県長生郡に
バラ園「なかさわナーゼリー」
を開設しました。その頃にド
ナー登録をして一度適合通知が
来ましたが提供にはいたりませ
んでした。
「マリアナターレ」発売にと
ないドナー登録推進に役立ちた
いと、骨髄移植推進財団に申し
入れ、作成した骨髄バンクPR
用のタグをバラにつけて販売、
出荷する時の箱にはJMDPPの
ロゴとURLを印刷し、ドナー

登録を呼びかけています。さら
に、マリアナターレの収益金の
一部は骨髄移植推進財団へ寄付
されます。
中澤さんは「私は神
様が咲かせてくれたバ
ラをただ収穫している
にすぎません。マリア
ナターレは骨髄バンク
のお手伝いをするこ
とが、神様の御心だと信
じています。マリアナ
ターレを手にした方に
骨髄バンクのことが記
憶の片隅に残ればと思
います。」とお話しし
ていました。
「マリアナターレ」の
お問い合わせ先…なか
さわナーゼリー
nakasawa@mb.infoweb.ne.jp
(名川)



さかえ薬局 静岡市 静岡市静岡市

さかえ薬局

昭和27年に、母が開局して、
一般医薬品の販売・処方せん調
剤を行って55年になります。
大きな病院の処方せんの発行
に伴って、白血病などの患者さ
んの薬も取り扱うようになり、
当薬局でも何かできることはな
いかと考えていた折、平成8年
7月に静岡県薬剤師会が協力機
関になったことを機会に募金箱
を設置させていただいておりま
す。

芸能人の方が白血病
というニュースが流れ
ると募金をされる方が
増えたり、小さいお子
さんがお母さんと一緒
に募金してくれたり
で、これ10年たちまし
た。

具合が悪い方も多
いので積極的なPR活
動はなかなかできません
が、細々でも長く貢献
できればと思ってい
ます。



その28